



かがやく瞳

引き渡し訓練へのご協力、ありがとうございました！



40年前の今日、秋田を中心とした日本海側の道県は大きな揺れに襲われました。それまでの俗説で、日本海で津波は発生しないと言われていたため、津波による犠牲者（死者）が100人（秋田県79人、青森県17人、北海道4人）を数えました。地震の揺れによる被害は秋田県と青森県が中心で、秋田県で4人が亡くなり、建物・道路・鉄道・堤防などに甚大な被害がありました。その原因となった地盤の液状化という言葉聞いたのも、この時が初めてだったような気がします。

今日は県民防災の日。上記のような被害を最小限に抑えるべく、県民みんなで万が一に備えて訓練したり準備したりする日になります。そこで、本校では昨日、地震を想定した避難訓練と引き渡し訓練を行いました。校内での避難訓練には、訓練の重要性を感じながら真摯に取り組む姿が見られました。引き続き行われた引き渡し訓練では、お家の方々のご協力をいただき、予定よりも早く終わることができました。お忙しい中、お時間を作ってください、誠にありがとうございました。あってほしくないのですが、万が一の時には昨日のような引き渡しになることを覚えておいていただきたいと思います。

昨日は気温が高かったことから、外で話すのを止め、引き渡しの訓練のための集団登校班で整列した後に、体育館で避難訓練について話しました。大まかなポイントは次の通りです。

- ・避難訓練は災害時を想定しており、災害時には気が動転しているため、訓練している以上のことはできない。故に、訓練・練習が大切であること。
- ・地震が発生した時（緊急地震速報が鳴った）は、直ちに机の下に隠れるなど、自分の命を守る行動をとること。
- ・登下校中や遊んでいる時など、大人と一緒にいない時にどのような行動をとったらいのか想像しておくこと。

そして、家に帰ったら家族と話し合うことをお願いしたつもりですが、昨夜はその話題になったのでしょうか。もし、その話をしていなかったというご家庭では、今日の県民防災の日に、その意義と、万が一離ればなれになって被災したときの各自の避難場所や連絡方法等を確認してみてはいかがでしょうか。最近、日本中で大きな地震が相次いでいます。専門家の話によると、日本の周りのプレート動きが活発になり、引き続き大きな地震が発生する可能性があるとのことでした。そのような話合いは、万が一に備えて大きな意味をもつはずですよ。